

考 え て み ま せ ん か 、 エ ネ ル ギ ー や 原 子 力 の こ と

講演と女性交流会

唐 ⁱⁿ 津 KARATSU 【報告書】

2004年11月20日(土)
唐津シティーホテル
主催
WIN-Japan(ウイン・ジャパン)

【プログラム】

11:00 開会挨拶

WIN-Japan 会長 小川順子

11:15 第一部

木元教子さん講演会「私たちの地球とエネルギー」

13:30 第二部

女性交流会 テーブルトーク

15:00 閉会挨拶

WIN-Japan 理事 藤本久美



「九州で初めての女性交流会。

充実した内容で、多くの方と、実りを共有できましたことを喜んでおります。

参加者の皆様には、あらためて感謝申し上げます。

この報告書は、皆様との出会いと語り合った日の記録としてお届けいたします。

皆様とWIN-Japanは、エネルギーや原子力、また女性を取り巻く様々なテーマの話し相手として、
これからも親しくお付き合いさせていただきたいと思っております。」

第1部 木元教子さん講演会

私達の地球とエネルギー

●原子力との関わり
 ニュースキャスターをしていた頃、「なぜ原子力なのか？」と疑問に思い、「被ばく国なのに、どうして原子力発電を行うのか？」とコメントしたことがある。これを聞いた、当時のエネルギー経済研究所の所長が勉強会に誘ってくれ、原子力に関する勉強を始めた。当時、次男は小学生。「原子力はこんなに怖い」という趣旨の社会科プリントを学校からもらって来た。そこで、原子力発電所を次男に見せようと思い、浜岡原子力発電所を見学した。現場で説明を受けて、大変興味を持ち、次男は今では電力会社で原子力発電に携わっている。次男のみならず、私も原子力に興味を強く持ち始め、勉強を続けた。その後、99年に、民間から初の、そして女性初の原子力委員となり、3年間の任期の3期目に入った。今後の委員で、前期から継続して就任しているのは私一人だけである。

●世界の人口
 現在63億人と言われ、うち12億人を占める中国が、10%の経済成長を続けている。二酸化炭素の排出量も世界2番目である。今後、アジアの途上国の人口が増え、豊かな生活を目指すようになれば、エネルギーの需要も増える。一方国民一人あたりのエネルギー消費量は、中国は少ないものの、人口が多いため、国全体では日本の2倍程度となる。今や中国では省エネにやっきになっている。

●部門別エネルギー消費
 消費量が最も多いのは産業部門だが、1973年から2001年を見ると、あまり増えておらず、産業界の省エネが進んだ結果と思われる。一方、民生部門は約2倍に増加している。運輸部門の増加は自家用運送車両が増加したことが主な原因である。

●今後の日本
 日本人の平均寿命は、男性79.36歳、女性85.33歳と高く、合計特殊出生率は1.29と低いため、少子高齢化社会となる。人口は減っても、世帯数は増えるため、電力消費量は今後も伸びるだろう。

●世界のエネルギー自給率
 日本の自給率は20%と低く、原子力を除くと4%になるその内訳は、水力発電と、地熱発電、ごく少量のゴミ発電によるものである。ウランがなければ、日本中停電状態と言える。各国を見ると、イギリスは北海油田を有しているため高い自給率をなっており、フランスも自給率が高いが、原子力を除けば、フランスの自給率は9%に下がってしまう。ドイツでは脱原子力を掲げるシュレーダー首相が当選したが、現政策が継続したとしても、発電所の残り寿命、あと30年程度は原子力を利用できる。

●地球温暖化
 地球温暖化は温室効果ガスが増加して、赤外線が地球外に逃がさなくなることから起きる。温室効果ガスのうち影響の大きい二酸化炭素は200年前と比較して30%増加している。私は、著書「100年後の地球」の中で、今後地球上の人口が増え続け、現状どおりエネルギーを消費していると、食料・エネルギー不足に加え、地球温暖化による様々な影響が出てくると書いた。気候も変化し、気候難民、温暖化難民といった人々が現れる可能性もある。日本では、二酸化炭素削減策として、省エネルギーの推進、新エネルギーの開発、基盤電源としての原子力発電を行ってゆくことを決めている。地球温暖化防止京都議定書により、二酸化炭素の排出量を1990年比で、2012年までに6%削減することを目標としている。

●核燃料サイクル
 核燃料サイクルは、ウラン燃料を使用した後、残されているものをリサイクルして再び燃料として利用するもので、エネルギー資源を世界に頼らず、国内自給しようとする試みである。島国の日本では、電気を輸入することができないため、エネルギーの自給は重要な問題である。脱原子力を掲げるドイツでは、原子力を止めたとしても、隣国フランスから安く電気を買うことができる。

●新エネルギー
 発電にかかるコストを見てみると、例えば太陽光発電の原価が66円/kWhであるのに対し、原子力は5.3円/kWhである。設備の値段も安く、発電所の敷地も少なくすむ。

●最後に
 原子力の平均利用は、被ばく国としての使命であり、今後も安全に利用してゆきたい。



木元教子さん(ジャーナリスト、原子力委員)

省エネについて
 日本人古来の生活を見直したい。昔はものを修理して大事につかったりと無駄の無い生活を普通にしていた。

原子力発電について
 HLWの処分のことやプルサーマルのことなど、一般の人は知らない。知らずに反対している人が多いと思う。

放射性廃棄物について
 プルサーマルの処分のことやプルサーマルのことなど、一般の人は知らない。知らずに反対している人が多いと思う。

地球温暖化問題
 地球温暖化問題を考えて、クリーンなエネルギーの原子力に切り替えていくことが必要であると思っっている。

原子力発電所の安全性について
 電力会社は、事故が起こった場合の連絡する手立てを周辺地域も含めて考えてほしい。

女性のご意見
 子供の頃から正しい知識が必要!!
 でも温暖化の教材はあるが原子力はない。
 女性もいろいろなことについてしっかり勉強していく必要性を感じた。



その他のご意見

正しい知識が必要!!
 でも温暖化の教材はあるが原子力はない。
 女性もいろいろなことについてしっかり勉強していく必要性を感じた。

第2部 テーブルトーク(抜粋)

Table Talk



講演会の感想
 地球温暖化については、近年、民生(家庭)によるエネルギー消費量が圧倒的に増えていること、また、自家用車によるCO2排出量が増えていることがわかった。今は1家に1台ではなくて、1人に1台の時代。驚きはしたいけど原子力は反対、では虫が良過ぎる。

原子力PAについて
 専門家に(一般的に男性)は、説明されても難しく理解できない。専門家の常識と一般の消費者の知識に大きな隔りがある。一般的に女性は電気に弱いので(説明役も)女性がいい。

環境・自給率・子供の将来
 を考え、大人の私たちが勉強し、子供たちに伝えていかなければいけない。

女性同士ということ、ざっくりと話に話ができよかったです。主人と話をしても「こんなことも知らないのか」とバカにされる

未来のわたしたちの子供や孫のためにいま何をする必要があるのか考えるきっかけができた。



交流会に参加して

未来のわたしたちの子供や孫のためにいま何をする必要があるのか考えるきっかけができた。

女性同士ということ、ざっくりと話に話ができよかったです。主人と話をしても「こんなことも知らないのか」とバカにされる



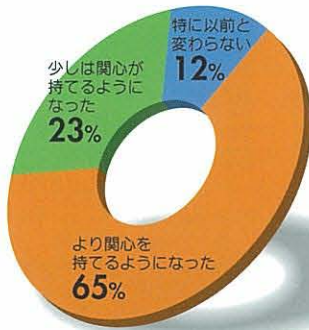
講演と女性交流会

唐in津 KARATSU 【報告書】

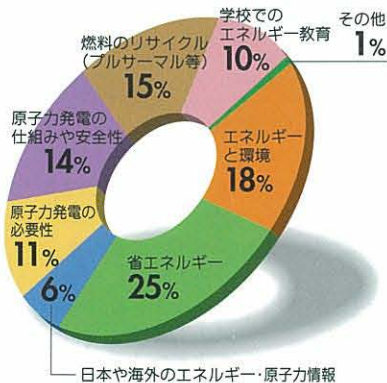
アンケート結果

今回の女性交流会に参加された皆さまにアンケートをお願いしました。その結果、「講演と交流会に参加されて、原子力やエネルギー問題への関心度が9割近くの方が今までより関心を持っていただいた、とのことでした。

Q. 今回の「講演と女性交流会」に参加されて、原子力やエネルギー問題についての関心度は変わりましたか？



Q. 日頃より、エネルギーや原子力問題のどのような点に関心をお持ちですか？（複数回答可）



また、
皆さまに
お会いできる日を
楽しみに
しております。

WIN-Japan女性交流会
プロジェクトメンバー同

WIN-Japan会員からの感想

- ・ 地元で玄海原子力発電所があるためか、原子力については一定の理解を示しているように感じられた。地元九州電力への信頼感がそこにあるからだと思う。そして、自らの被爆体験、JCO、美浜の事故など原子力についての関心度も高いように思われた。
- ・ 美浜3号機の事故の影響が多少なりともあるかと思っただけ、「九電は大丈夫」と地元の方々との間に強い信頼関係が築かれていることを感じた。
- ・ このような「交流会」をもっと企画してほしい。原子力に関心をもってもらうためには非常にいい機会だと思う。とのお言葉をいただき良かったと思う。

全体のまとめ

～未来の子供たちが、健やかに生きられる環境をつくるために…～をサブタイトルに私たちが真剣に考えなくてはならないこれからの環境やエネルギーについて、「今できることは何か。何に取り組まなくてはいけないか。」など、原子力との関わりから、皆さまと学ぶ機会をいただきました。今回は、プルサーマル計画を実施する方針を決定している玄海原子力発電所に隣接し、かつ大消費地・福岡市に近い唐津市でこのような交流会を開催し、原子力やエネルギーに関連する熱いご意見を聴取することができたことは、本当に意義深いことであつたと考えます。皆さまとお話させていただき、WIN会員にとって大いに励まされ勇気づけられました。ありがとうございました。